

# 農業の新しい技術

No. 768

(令和8年(2026年)5月)

分類コード 01-14

熊本県農林水産部

## 褐毛和種種雄牛「重波弦ET」の選抜

農業研究センター畜産研究所生産基礎技術研究室

担当者：元嶋健

### 研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、産肉能力現場後代検定及び育種価評価を実施し、その結果に基づき優秀な種雄牛を選抜する。

### 研究の成果

1. 肉量・肉質能力に優れた褐毛和種種雄牛「重波弦ET」を選抜した。

#### ○血統

父 重波泉 (高 95)	祖父 波泉(繁殖 116)	— 光玉波 (高 80)
	祖母 なみよ☆(繁殖 18614)	— 波泉(繁殖 116)
母 ひめ壺ET十 (繁殖 23235)	祖父 第四弦光(高 88)	— 第四光重(高 82)
	祖母 ひめ壺ET壺☆☆(繁殖 11499)	— 第三光丸(高 71)

○登録番号：繁殖248

○生年月日：令和2年10月13日

○生産地：熊本県農業研究センター

2. 現場後代検定成績および育種価

○現場後代検定では枝肉重量が歴代2位、ばらの厚さが歴代1位、BMSNo. ロース芯面積が歴代トップクラスの成績となり、育種価では枝肉重量とばらの厚さが1位、ロース芯面積と歩留基準値が4位、BMSNo. が5位(評価種雄牛554頭)となり、極めて優れた成績となった。

○SBV※は、枝肉重量が2.56、ばらの厚さが2.39、ロース芯面積が2.22と肉量の改良効果が大きいと推定される。

※SBV(標準化育種価)とは、産肉能力の特徴を把握しやすくするため、各形質の育種価を同一スケール上で比較できるように加工したもの。

3. 特徴

○本牛は、産肉能力が極めて高い「重波泉」と本所の高能力ドナーを交配・作出された受精卵産子であり、父牛の能力を色濃く引き継ぐ最初の後継牛として肉量・肉質の面で改良への貢献が期待される。

[具体的データ]



重波弦 ET (しげなみつるいーていー)

重波弦 ET 産子 (去勢) の  
枝肉写真及び枝肉成績



格付: A-4 枝重: 603.4kg  
BMSNo.: 5 ロース: 69cm<sup>2</sup>  
ばら 9.5cm 母の父: 弦球

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	BMS No.	ロース 芯面積 (cm <sup>2</sup> )	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	歩留 基準値 (%)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	9	555.0	4.67	61.4	9.4	3.2	73.8	727.5
雌	9	510.0	4.78	60.2	8.6	3.2	73.7	657.8
全体	18	532.5	4.72	60.8	9.0	3.2	73.8	692.6

表2 育種価(BV) (2026.3月評価)

	順位	育種価	(正確度)
枝肉重量 (kg)	1	83.92	0.89
BMSNo.	5	3.015	0.92
ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	4	15.06	0.88
ばらの厚さ (cm)	1	1.38	0.89
皮下脂肪の厚さ (cm)	63	-0.59	0.92
歩留基準値	4	2.40	0.91
日齢枝肉重量 (kg/日)	1	108.30	0.90

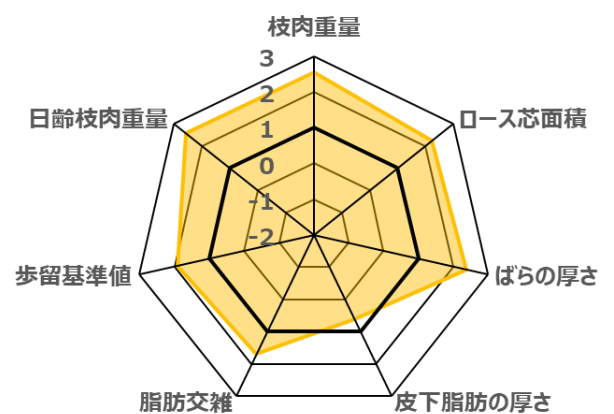


図1 SBV<sup>1)</sup> (標準化育種価)

※ 皮下脂肪は逆符号

後代頭数 22 頭(フィールド成績を含む)

順位は評価種雄牛 554 頭中の順位